Panasonic® ガス当番丸型ベース(4端子式) 品番 SH5900 ガス当番丸型ベース(4端子・制御端子付) 品番 SH5901

施工説明書

SH5900・SH5901

- ●正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
- ●施工するには、電気工事士の資格が必要です。
- ●施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、施工説明書をお渡しください。
- ●万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

付属品

- ●施工説明書(本紙)……1枚
- ●取付用木ネジ(3.5×30)…2本(本体裏面に付属)

安全上のご注意

■必ずお守りください

⚠警告

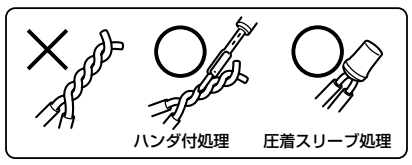
禁止	**信号出力端子にAC100V用電源線を接続しない。** 感電や故障の原因となります。
禁止	**必ず電源(AC100V)を切った状態で施工する。** 活線工事は感電や故障の原因となります。
必ず守る	**AC100V用電源線は確実に接続する。** 接続が不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。
必ず守る	**取り付け・取りはずし時などは足場を確保する。** 高所作業になり、転倒・落下のおそれがあります。安全に作業できるようご注意ください。

⚠注意

必ず守る	**商品本体の取り付けは確実に行う。** 商品が落下し、ケガや他の物品を破損する原因となります。 不備のないようしっかりと取り付けてください。

施工上のご注意

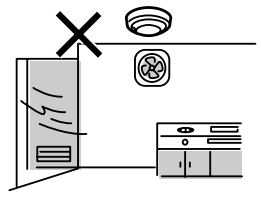
- ●この商品は 屋内専用 です。屋外・屋側には設置しないでください。
- ●接続する警報器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
- ●配線の電線接続部はハンダ付処理か圧着スリーブで行ってください。
  (電線をよじっただけでは、長期使用中に電線表面が酸化接触不良をおこし誤報の原因となります。端子接続する配線についてはハンダ付処理をしないでください。)
- ●100V電源端子を使用しての送り接続はしないでください。
- ●商品の分解・改造は絶対にしないでください。故障の原因となります。



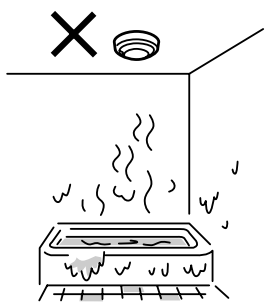
■次のような場所には取り付けないでください。

(誤動作や故障、または検知が遅れる原因となります。)

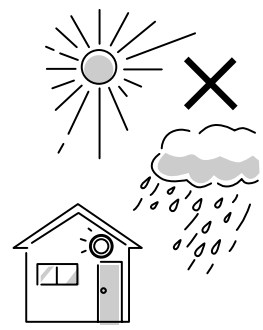
●ドア付近など風通しのよい場所・すきま風の入る場所



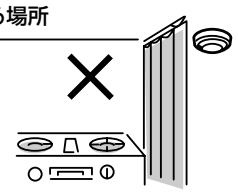
●浴室内・水のかかる場所・水滴のつく場所



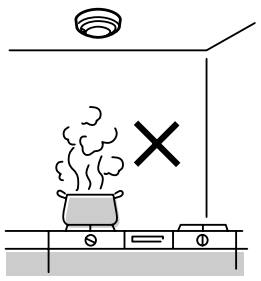
●屋外・屋側



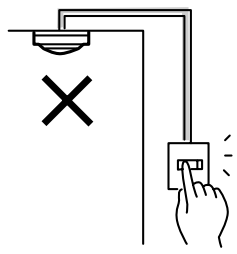
●カーテンウォールなどで仕切られる場所



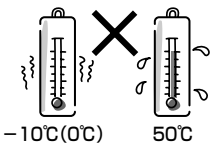
●燃焼器具などからの排気、湯気、油煙などが直接かかる場所



●使用時しか電源を入れない場所
(ビルなどの湯沸室で、夜間電源を切る場所)



●取付場所の温度が−10℃(0℃)を下まわる、あるいは50℃をこえる場所



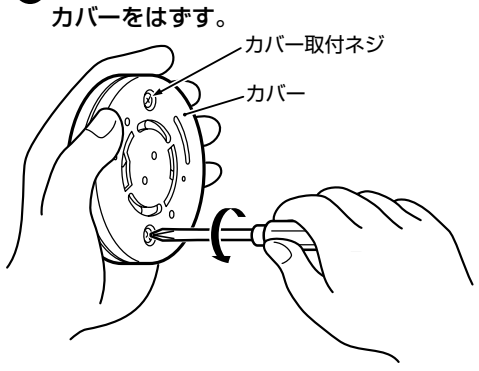
※( )内はSH13437VKの場合を示します。

施工後の確認方法

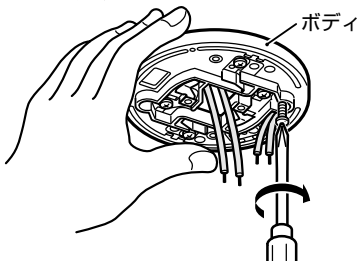
●施工後、警報器に付属の取扱説明書にしたがって正常に動作することを確認し、お客様に商品の説明をしてください。

取付方法(天井取付の場合)

❶ カバー取付ネジをゆるめてカバーをはずす。



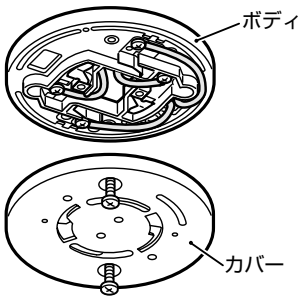
❷ ボディを天井の取付位置に取り付ける。このとき電源線、信号線をそれぞれ指定の穴に通す。



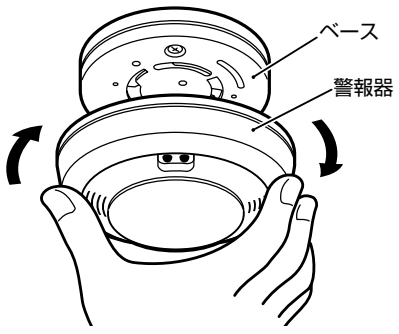
丸孔カバーに取り付ける場合はM4のネジ(別途購入)を、天井に直接取り付ける場合は取付用木ネジ(付属)を使用して固定してください。

❸ 電源線、信号線をベースの表示どおり確実に接続する。※「配線方法」参照

❹ カバーをもとどおり取り付ける。



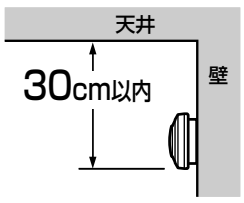
❺ 警報器をベースに合わせ、止まる位置まで右にまわし、確実に固定する。

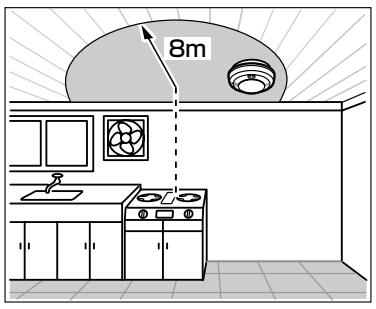


取付例

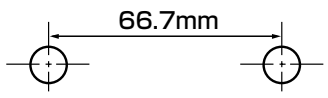
■SH13828, SH13928, SH13834V, SH13934V, SH13437VK, SH13833, SH13933のヘッドに適用

天井面または天井面から30cm以内の壁面で、コンロなどの真上を避け8m以内の位置に取り付けてください。





取付寸法



※ボックスに取り付ける場合は、下記のボックスに適合します。

適合ボックス

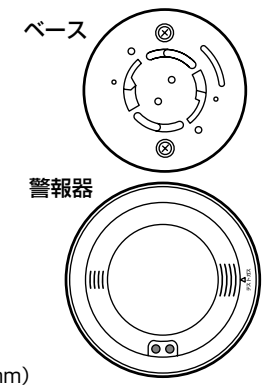
- ●JIS アウトレットボックス
- ●JIS コンクリートボックス

適合ボックスカバー

- ●JIS 丸孔カバー
  (丸孔カバーに取り付ける場合は、別途市販のM4ネジをご使用ください。)

ベースと警報器の取付方向

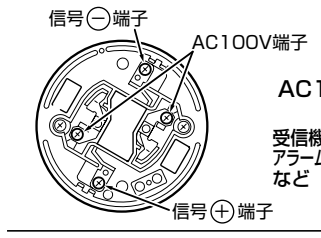
●ベースを取り付けるとき、警報器のランプが確認しやすい方向に取り付けてください。



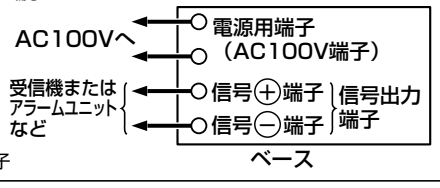
配線方法

(注) ●端子は内側が電源(AC100V)用、外側が信号(DC30V)用です。誤結線しますと内部回路が破損しますのでご注意ください。
●電源用、信号用の電線はΦ1.0〜Φ2.0のVVFまたは600VIV線をご使用ください。詳しくは、内線規程をご参照ください。

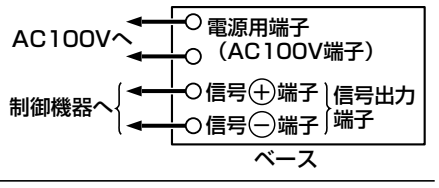
■ガス当番丸型ベース(4端子式)(SH5900)の場合



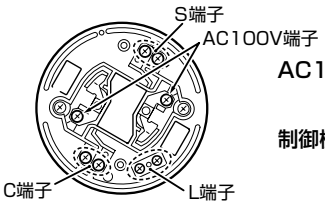
●有電圧出力型警報器を接続した場合



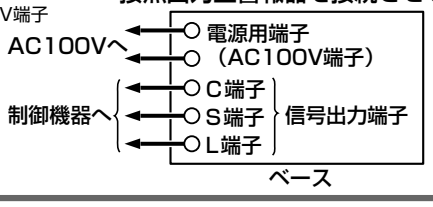
●接点出力型警報器を接続した場合



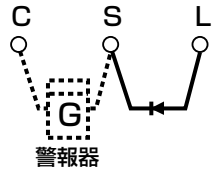
■ガス当番丸型ベース(4端子・制御端子付)(SH5901)の場合



●接点出力型警報器を接続させる場合

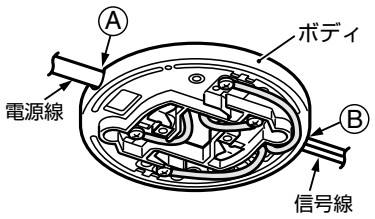


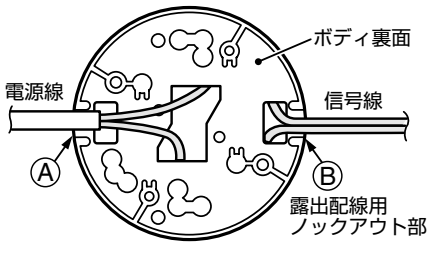
●信号出力端子部回路図



■ベースを直付して露出配線をする場合

(1) 露出配線の場合は下図ボディのAおよびB(露出配線用ノックアウト部)を切り欠き、電源線および信号線をそれぞれ露出配線します。





(注) 信号用の電線に信号用ケーブル(OP線など)を使用しボックス取付する場合は、絶縁セパレータが必要となります。
〔当社品番:WV2450(別売)〕

パナソニック電工株式会社 HA・セキュリティ事業部 〒514−8555 三重県津市藤方1668

© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2008

981 197 4 KS1295-80808A